

平成26年度

履 修 の 手 引

新潟大学理学部

目 次

1	入学にあたって-----	1
2	新潟大学理学部規程-----	2
3	新潟大学における授業科目の区分等に関する規則-----	13
4	履修の心得-----	15
5	教育職員免許状の取得について-----	19
6	学芸員の資格取得について-----	25
7	理学部の組織-----	26
8	大学院の組織-----	26
9	自然科学研究科の構成-----	27
10	教授会-----	28
11	事務-----	28
12	理学部教職員一覧-----	29
13	理学部講義室等案内図-----	30
14	理学部周辺案内図-----	35

1. 入学にあたって

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新潟大学理学部は、学ぶ意欲に満ちた皆さんの入学を心から歓迎いたします。皆さんには、これからの新潟大学での新しい学生生活を楽しく、有意義に過ごしていただきたいと思えます。皆さんは高等学校までとは異なり色々な意味で「自由」を手に入れることができます。そしてそれと同時に「責任」もこれまで以上についてきます。大学は、ご存知のように入学したからといって卒業を必ずしも保証している場所ではありません。自分の学習計画はもとより、大学における自分自身の過ごし方を自分で決め、自分の責任で実行していかなければなりません。自分の将来を見据えて目標を定め、その目標を達成できるよう自分で計画し、それを実行していくこととなります。卒業するときには、すべての皆さんがこれからの人生を切り開いていくことができる能力を身につけているよう期待しています。

皆さんの入学した理学部は基礎科学を学び研究する学部です。それは人間の最も純粋な本能の一つである真理の探究への「好奇心」に端を発しています。理学は数理やミクロな世界から生命、宇宙に至るまでの自然の仕組みを解明することを目指す終わりの無い学問です。しかし、理学は知的好奇心だけに閉じているものではなく現代社会の最先端技術、情報、生命・医療、新機能材料、自然環境などありとあらゆる分野の基礎となっています。理学を学び継承・発展させて行くことは、基礎科学の発展に寄与するとともに社会からの要請に応えることにもなります。

理学はその性格上、基礎からの積み重ねが重要になります。したがって最終目的に至るためのルートマップを知らねばなりません。まず入学直後に「大学学習法」という授業を履修し、4年間の勉学を展望します。次に、自然系共通専門基礎科目群を履修して専門教育をうけるため準備を整えます。これと並行して、新潟大学学生にふさわしい教養を身につけるための科目群を履修します。それらの基礎の上に立って専門科目を学びます。専門科目では、演習・実習・実験・セミナーなどによるきめ細かい対応により、学生1人1人の個性を伸ばす工夫がされています。知識は時代とともに変転してゆきますが、理学部での勉学から身につけた物事の根底にある本質を見抜く能力とそれをもとに論理的に思考できる能力は、目まぐるしく変化する時代にこそ対応できるものです。

この「履修の手引」は、皆さんが理学部において学習を進めるにあたっての必要事項をまとめたものです。多少難解なところもあるかもしれませんが、皆さんが卒業するまでのガイドとなりますので、よく読んで、内容を理解しておいて下さい。不明な点があれば、自己流に解釈せず身近にいる教員や学務係に相談して下さい。これから始まる大学生活において、自分自身の学習プログラムを作成して有意義な学生生活を送るために、「履修の手引」を有効に活用して下さい。

理学部長 山田 裕

2. 新潟大学理学部規程

〔平成16年4月1日〕
理規程第1号

(趣旨)

第1条 新潟大学理学部(以下「本学部」という。)の教育課程の編成、学生の履修方法、卒業の要件等に関し必要な事項については、新潟大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(本学部の教育研究の目的)

第1条の2 本学部は、数学と自然科学の基礎研究に基づき、基礎的な専門知識と深い教養を備え、課題探求能力と総合的判断力及び国際性、社会性を身につけた人材を育成することを目的とする。

(学科)

第2条 本学部に、次に掲げる学科を置く。

数学科

物理学科

化学科

生物学科

地質科学科

自然環境科学科

(教育課程)

第3条 本学部の教育課程は、教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目により編成するものとする。

2 専門教育に関する授業科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分ける。

(履修方法)

第4条 学生は、別表第1の定めるところにより、教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目について、124単位以上を修得しなければならない。

2 別表第1に規定する教養教育に関する授業科目の科目区分等及びその科目区分等に基づく授業科目は、新潟大学における授業科目の区分等に関する規則(平成16年規則第38号。以下「授業科目の区分等規則」という。)の定めるところによる。

3 外国人留学生等が、授業科目の区分等規則別表に規定する科目区分の留学生基本科目に属する授業科目を履修し、その単位を修得したときは、日本語の授業科目については4単位までを英語又は初修外国語に属する一つの外国語の授業科目の単位に、日本事情の授業科目については4単位までを自然科学又は人文社会・教育科学に属する授業科目の単位に代えることができる。

4 別表第1に規定する各学科において履修すべき専門教育に関する授業科目及びその単位数は、別表第2に定めるところによる。

(履修手続)

第5条 学生は、学期の始めに履修しようとする授業科目を選択し、その授業科目の担当教員の承認を得なければならない。

(追試験)

第6条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については、本人の願い出により、追試験を行うことができる。

2 前項の追試験の願い出、評価等については、別に定める。

(再試験)

第7条 教養教育に関する授業科目について、卒年次学生で1科目(外国人留学生等である場合は2科目)不合格のため、卒業できない学生については、本人の願い出により、再試験を行うことができる。

2 専門教育に関する授業科目については別に定める。

(教員の免許状)

第8条 本学部において、取得することができる教員の免許状の種類及び免許教科は、次の表に掲げるとおりとする。

学科	教員の免許状の種類（免許教科）
数学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学，情報）
物理学科 化学科 生物学科 地質科学科 自然環境科学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科）

（卒業）

第9条 本学部に通算4年以上在学し、かつ、第4条第1項に規定する所定の単位を修得した学生の卒業の認定は、教授会の議を経て、学部長が行う。

（編入学及び再入学）

第10条 学則第62条第1項及び第2項並びに第63条の規定による編入学又は再入学を志願する者に対する選考については、別に定める。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

（転部及び転入学）

第11条 学則第64条の規定による転部又は転入学を志願する者に対する選考については、別に定める。

2 前項の規定により転部又は転入学を許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

（転科）

第12条 本学部の学生で他の学科に転科を願い出る者に対する選考については、別に定める。

（雑則）

第13条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、教授会が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成16年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、現に在籍する学生が別表第2の3自然科学(1)各学科共通の表に規定する授業科目中、「科学・技術と社会」を、現に数学科に在籍する学生が別表第2の3自然科学(2)数学科の表に規定する授業科目中「数学英語」、「基礎ゼミⅠ」、「基礎ゼミⅡ」、「基礎ゼミⅢ」、「基礎ゼミⅣ」、「基礎ゼミⅤ」、「基礎ゼミⅥ」、「基礎ゼミⅦ」及び「基礎ゼミⅧ」を、現に地質科学科に在籍する学生が別表第2の3自然科学(6)地質科学科の表に規定する授業科目中「地質構造解析法」、「鉱物結晶学実験」、「地球化学分析法」、「水質化学分析法」、「海洋生物学実験」、「古無脊椎動物学実験」及び「応用地質学実習」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

3 平成16年度以前に入学した学生の再試験の取扱いについては、第7条の規定を適用する。

附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成17年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成18年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

2 平成19年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、施行の日に現に自然環境科学科に在籍する学生は、別表第2に規定する授業科目のうち「海洋学」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

附 則

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

2 平成20年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

2 平成 21 年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 22 年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、施行の日に現に自然環境科学科に在籍する学生は、改正後の別表第 2 に規定する授業科目のうち「環境気象学」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

附 則

1 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 23 年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、施行の日に現に在籍する学生は、改正後の別表第 2 に規定する授業科目のうち「海外英語研修」及び「海外研修」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

附 則

1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 24 年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、施行の日に現に化学科に在籍する学生は、改正後の別表第 2 に規定する授業科目のうち「溶液化学演習」を、自然環境科学科に在籍する学生は、同表に規定する授業科目のうち「物質科学 C」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

別表第1 (第4条関係)

分類	科目区分	細区分	数学科			物理学科			化学科			生物学科			地質科学科			自然環境科学科		
			必修	選択	計	必修	選択	計	必修	選択	計	必修	選択	計	必修	選択	計	必修	選択	計
教養教育に関する授業科目	英語	英語	2			2			2			2			2			2		
			2			2			2			2			2			2		
	初修外国語	外国語ベーシック																		
		ドイツ語																		
		フランス語																		
		ロシア語																		
		中国語	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8
		朝鮮語																		
		スペイン語																		
	イタリア語																			
	外国語スペシヤル																			
	健康・スポーツ				1															
	情報リテラシー																			
	新潟大学 個性化科目	情報リテラシー																		
		地域入門																		
		地域研究																		
		自由主題																		
人文社会・ 教育科学	人文科学		8	17		8	17		8	17		8	17		8	17		8	17	
	教育人間科学																			
	法学																			
	経済学																			
自然科学	理学																			
	工学																			
	農学																			
	医学																			
歯学																				
専門教育に関する授業科目	小計		25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
		2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	大学学習法	大学学習法																		
		数学・統計学																		
		物理学																		
		化学		16	16	4	12	16	4	4	16									
		生物学																		
		地学																		
		理学	30	2	32	46	12	6	64	4	18	64	14	38	53	11	64	24	12	24
		小計			82		82		82		82		82		82		82		82	
自由選択科目 (上記科目分類の中からいづれでも良い)	小計			17		17		17		17		17		17		17		17		
	合計			124		124		124		124		124		124		124		124		

注) 1. 教養教育に関する授業科目の科目区分「自然科学」のうち、細区分「理学」については、別表第2の3自然科学(1)各学科共通及び(2)～(7)のうち所属する学科の表に規定する授業科目を除く。

2. 専門教育に関する授業科目の科目区分「自然科学」細区分「理学」については、別表第2の3自然科学(1)各学科共通及び(2)～(7)のうち所属する学科の表に規定する授業科目から履修するものとする。

別表第2 (第4条関係)

専門科目及び単位数

1 大学学習法

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	スタディ・スキルズ (数学学習法)	2	必修科目	生命科学への招待 (生物学学習法)	2
	現代物理学への招待 (物理学学習法)	2		スタディ・スキルズ (地質科学学習法)	2
	スタディ・スキルズ (化学学習法)	2		環境科学スタディ・スキルズ	2

備考： 所属学科の科目1科目2単位必修。

2 自然系共通専門基礎

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修又は 選択科目	数 学 基 礎 A	2	必修又は 選択科目	化 学 基 礎 A	2
	数 学 基 礎 B	2		化 学 基 礎 B	2
	統 計 学 基 礎	2		化 学 基 礎 C	2
	物 理 学 入 門	2		生 物 学 基 礎 A	2
	物 理 学 基 礎 A I	2		生 物 学 基 礎 B	2
	物 理 学 基 礎 A II	2		地 学 基 礎 A	2
	物 理 学 基 礎 B I	2		地 学 基 礎 B	2
	物 理 学 基 礎 B II	2		地 学 基 礎 C	2
	物 理 学 基 礎 C I	2			
	物 理 学 基 礎 C II	2			
	物 理 学 基 礎 D	2			

備考： 別表1で学科毎に規定された単位数を修得する。

3 自然科学

(1) 各学科共通

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
選択必修科目又は	科 学 史	2	選択必修科目又は	インターンシップ特別実習a	1
	新 素 材 の 物 性	2		インターンシップ特別実習b	2
	科 学 ・ 技 術 と 社 会	2		グリーンケミストリー概説	1
	安 全 教 育	1		海 外 英 語 研 修	4
			海 外 研 修	1又は2 (※プログラム毎に別に定める。)	

備考： 自然環境科学科において選択必修として履修できる科目は、「科学史」及び「科学・技術と社会」とする。

(2) 数学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	微分積分学Ⅰ	2	選択科目	実解析学	4
	微分積分学Ⅱ	2		複素解析学Ⅰ	2
	微分積分学Ⅲ	4		複素解析学Ⅱ	2
	線形代数Ⅰ	2		関数解析学	2
	線形代数Ⅱ	2		代数系Ⅰ	2
	線形代数Ⅲ	4		代数系Ⅱ	2
	数学講究	8		幾何学Ⅰ	4
	数理基礎演習Ⅰ	2		幾何学Ⅱ	2
	数理基礎演習Ⅱ	2		トポロジ	2
選択必修科目	集合と位相入門	2		確率論	2
	数理解析特別講義Ⅰ	2		情報管理学	2
	数理解析特別講義Ⅱ	2		情報統計学	2
	構造数理特別講義Ⅰ	2		情報産業論	2
	構造数理特別講義Ⅱ	2		情報社会論	2
	情報数理特別講義Ⅰ	2		計算システム実習	1
選択科目	情報数理特別講義Ⅱ	2		デジタル表現論	2
	計算機概論	2		デジタル表現実習	1
	計算機概論実習	1		ネットワーク実習	1
	代数入門	4		知能システム論	2
	微分方程式論	2		基礎ゼミⅠ	2
	位相空間論	2		基礎ゼミⅡ	2
	情報基礎数学Ⅰ	2		基礎ゼミⅢ	2
	情報基礎数学Ⅱ	2		基礎ゼミⅣ	2
	プログラミング概論	2		基礎ゼミⅤ	2
	プログラミング演習	2		基礎ゼミⅥ	2
	計算システム	2		基礎ゼミⅦ	2
	グラフとネットワーク理論	2		基礎ゼミⅧ	2
	情報計画システムⅠ	2	数値解析	2	
	情報計画システムⅡ	2	数学英語	2	

(3) 物理学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	基礎物理学演習 I	2	選択科目	現代物理学	2
	基礎物理学演習 II	2		物理学基礎ゼミ	2
	初等物理学実験	2		電気力学	2
	基礎ベクトル解析	2		流体物理学	2
	解析力学	2		エレクトロニクス	2
	電磁気学 a	2		計測学	2
	電磁気学 b	2		計算物理学	2
	熱力学	2		特殊相対論	2
	物理数学 I	2		一般相対論	2
	物理数学 II	2		量子力学 III	2
	物理数学 III	2		統計力学 III	2
	量子力学 I	2		原子核物理学 I	2
	量子力学 II	2		原子核物理学 II	2
	統計力学 I	2		物性物理学 I	2
	統計力学 II	2		物性物理学 II	2
	物理学実験 a	4		原子分子論	2
	物理学実験 b	4		素粒子物理学 I	2
課題研究 a	4	素粒子物理学 II	2		
課題研究 b	4	宇宙物理学	2		
選択必修科目	物理学演習	2	天文学特論	1	
	電磁気学演習	2	生物物理学特論	1	
	物理数学演習 I	2	原子核理論特論	1	
	物理数学演習 II	2	原子核物理学特論	1	
	量子力学演習 I	2	素粒子論特論	1	
	量子力学演習 II	2	素粒子物理学特論	1	
	統計力学演習 I	2	物性理論特論	1	
	統計力学演習 II	2	物性物理学特論	1	
	計算物理学演習	2	プラズマ物理学特論	1	
科選択目	振動・波動	2	宇宙物理学特論	1	
	量子力学序論	2			

(4) 化学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	分析化学 I	2	選択科目	分析化学 II	2
	無機化学 I	2		錯体化学	2
	無機化学 II	2		無機化学 III	2
	有機化学 I	2		放射化学	2
	有機化学 II	2		有機化学 III	2
	化学熱力学	2		構造有機化学	2
	化学統計力学 I	2		反応有機化学	2
	量子化学 I	2		量子化学 II	2
	生体分子化学 I	2		化学反応論	2
	化学実験 I	2		化学統計力学 II	2
	化学実験 II	2		生体分子化学 II	2
	分析化学実験	2		生体分子化学 III	2
	無機化学実験	2		基礎機器分析	2
	有機化学実験	2		有機機器分析	2
	物理化学実験	2		化学英語	2
	生化学実験	2		化学コロキウム	1
	課題研究	10		化学特論 I	1
選択必修科目	分析化学演習	4	化学特論 II	1	
	無機化学演習	4	化学特論 III	1	
	有機化学演習	4	化学特論 IV	1	
	物理化学演習	4			
	量子化学演習	4			
	生化学演習	4			
	溶液化学演習	4			

(5) 生物学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	基礎植物学	2	選 択 科 目	遺 伝 学	2
	基礎生物化学	2		系 統 動 物 学	2
	基礎細胞生物学	2		発 生 生 物 学 I	2
	基礎細胞遺伝学	2		発 生 生 物 学 II	2
	生物英語 I	2		植 物 生 理 学 I	2
	基礎生物学実習 I	2		植 物 生 理 学 II	2
	基礎生物学実習 II	2		植 物 生 理 学 III	2
選択必修科目	課 題 研 究 I	8		生 物 英 語 II	2
	課 題 研 究 II	4		生 物 学 基 礎 演 習	2
	分 子 生 物 学 実 習	2		分 子 生 物 学 演 習	4
	生 物 化 学 実 習	2		細 胞 生 物 学 演 習	4
	動 物 生 理 学 実 習	2		発 生 生 物 学 演 習	4
	植 物 分 子 生 理 学 実 習	2		植 物 生 理 学 演 習	4
	植 物 形 態 発 生 学 実 習	2		内 分 泌 学 演 習	4
	動 物 形 態 発 生 学 実 習	2		生 物 化 学 演 習	4
	臨 海 実 習 I	2		生 物 学 特 論 I	1
	単位互換協定に基づき修得した他大学開設の臨海実習関係科目	当該科目について定められている単位数(2単位まで)		生 物 学 特 論 II	1
選択科目	分 子 生 物 学	2		生 物 学 特 論 III	1
	生命科学のための基礎化学	2		生 物 学 特 論 IV	1
	生 物 化 学 I	2		生 物 学 特 論 V	1
	生 物 化 学 II	2		生 物 学 特 論 VI	1
	細 胞 生 物 学 I	2		適 応 生 物 学	2
	細 胞 生 物 学 II	2		多 様 性 生 物 学 A	2
	生 体 情 報 学	2		機 能 形 態 学 A	2
	動 物 生 理 学 I	2		進 化 生 物 学	2
	動 物 生 理 学 II	2		環 境 生 物 学 野 外 実 習 A	1
	動 物 生 理 学 III	2			

備考：1. 選択必修科目の課題研究については課題研究Ⅰ又は課題研究Ⅱのいずれか1科目を履修し修得すること。この場合において、課題研究Ⅱを履修することができる者は、理学部長が別に定める。

2. 選択必修科目の実習科目については8単位以上を修得すること。

(6) 地質科学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	地質調査法基礎 I	1	選択科目	古生物学 B	2
	地質調査法基礎 II	1		地層学 B	2
	地質調査法 I	2		環境地質学 A	2
	地質調査法 II	2		環境地質学 B	2
	地質調査法実習 I	1		鉱物学 B	2
	地質調査法実習 II	1		地球物理学	2
	古生物学 A	2		土木地質学	1
	地層学 A	2		石油地質学	1
	地史学原理	2		地球科学特別講義 I	1
	地史学 A	2		地球科学特別講義 II	1
	地史学 B	2		地球科学特別講義 III	1
	テクニクス	2		地球科学特別講義 IV	1
	構造地質学	2		資源・環境地質学	2
	岩石学 A	2		地球化学分析法	1
	岩石学 B	2		水質化学分析法	1
	岩石学実験 I	1		地質構造解析法	1
	岩石学実験 II	1		第四紀環境学	2
	鉱物学 A	2		東アジアの地質形成史	2
	鉱物結晶学実験	1		古生物学実験	1
	コミュニケーション実習	1		海洋地質学	2
	地学英語	1		固体地球化学	2
	セミナー	2		環境地質学実習	1
	野外実習基礎	1		応用地質学実習	1
	野外実習 I	1		海洋生物学実験	1
	野外実習 II	2		古無脊椎動物学実験	1
	野外実習 III	4			
課題研究	10				

(7) 自然環境科学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	自然環境科学概論 A	2	選 択 科 目	適 応 生 物 学	2
	自然環境科学概論 B	2		環 境 分 析 化 学	2
	自然環境科学概論 C	2		物 質 反 応 化 学	2
	基礎地学実験	2		物 質 科 学 A	2
	基礎物理学実験	2		物 質 科 学 B	2
	基礎生物学実験	2		物 質 科 学 C	2
	基礎化学実験	2		基礎量子力学	2
課 題 研 究	10	地 球 流 体 力 学		2	
選択必修科目	環境経済システム論 I	2		地 球 環 境 化 学	2
	環 境 政 策 論	2		エ ネ ル ギ ー 物 質 科 学	2
	自然環境科学実験 A	4		環 境 汚 染 論	2
	自然環境科学実験 B	4		自 然 科 学 実 験 法	2
	自然環境科学実験 C	4		古 環 境 学	2
選択科目	地 圏 環 境 変 動 論	2		環 境 気 象 学	2
	地 形 学	2		自 然 環 境 科 学 特 論 A	1
	気 候 シ ス テ ム 論	2		自 然 環 境 科 学 特 論 B	1
	高 層 大 気 科 学	2		自 然 環 境 科 学 特 論 C	1
	地 形 情 報 科 学	2		自 然 環 境 科 学 特 論 D	1
	生 態 学	2		基 礎 数 理 演 習 I	2
	機 能 形 態 学 A	2		基 礎 数 理 演 習 II	2
	機 能 形 態 学 B	2	環 境 生 物 学 演 習	2	
	多 様 性 生 物 学 A	2	環 境 地 質 学 野 外 実 習	1	
	多 様 性 生 物 学 B	2	環 境 生 物 学 野 外 実 習 A	1	
	多 様 性 生 物 学 C	2	環 境 生 物 学 野 外 実 習 B	1	
	保 全 生 物 学	2	環 境 生 物 学 野 外 実 習 C	1	
	進 化 生 物 学	2			

3. 新潟大学における授業科目の区分等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、新潟大学学則（平成16年学則第1号）第48条の規定に基づき、新潟大学（以下「本学」という。）の学士課程教育における授業科目の区分、履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の区分)

第2条 本学の授業科目は、別表のとおり区分する。

2 各年度において開設する授業科目は、教育・学生支援機構（以下「機構」という。）が公示する授業科目開設一覧の定めるところによる。

3 授業科目には、学生の体系的な履修に資するため、学問分野及び水準を示すコードを付すものとする。

4 前項のコードは、機構において定めるものとする。

(授業科目の開講方式等)

第3条 授業科目は、原則として半年学期制により開講する。

(授業科目の履修)

第4条 学生は、所属する学部が定める教育課程に基づき、機構が公示する授業科目を履修するものとする。

(授業科目の聴講の受付及び承認)

第5条 授業科目の聴講の受付及び承認は、その授業科目の担当教員が行う。

2 前項の聴講の受付及び承認は、各学期の授業開始後3週間以内に行うものとする。

(授業科目の修了の認定)

第6条 授業科目の修了の認定は、その授業科目の担当教員が行う。

2 授業科目の試験等において、不正行為を行った学生に対しては、その者が所属する学部の教授会の議を経て、学部長が必要な措置を講じるものとする。

(授業科目の評価)

第7条 授業科目の評価は、100点満点をもって評価し、60点以上の成績を得た学生を合格、59点以下の成績を得た学生を不合格とする。

2 前項の成績の評語は、90点以上の成績を「秀」、89点から80点までの成績を「優」、79点から70点までの成績を「良」、69点から60点までの成績を「可」及び59点以下の成績を「不可」とする。

3 前項の規定にかかわらず、授業科目の成績において点数をもって評価できない場合は、「認定」又は「合格」の評語をもって評価することができる。

(授業科目の追試験)

第8条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については、別に定めるところにより、追試験を行うことができる。

(授業科目の再試験)

第9条 授業科目の評価が不合格となった学生で、卒業又は進級できないものがある場合は、別に定めるところにより、再試験を行うことができる。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、授業科目の区分、履修方法等に関し必要な事項は、機構又は各学部が定める。

附 則

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2 新潟大学全学共通科目の履修の基準に関する規則（平成16年規則第32号）は、廃止する。

3 平成16年度以前に入学し、現に在学している学生がこの規則により授業科目を履修した場合の全学共通科目又は教養科目（廃止前の新潟大学全学共通科目の履修の基準に関する規則に基づく全学共通科目又は教養科目をいう。）への読替えについては、機構において公示する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

授 業 科 目 区 分 表

科目区分	細区分
英語	英語
初修外国語	外国語ベーシック ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 朝鮮語 スペイン語 イタリア語 外国語スペシャル その他
健康・スポーツ	体育実技 体育講義
情報リテラシー	情報リテラシー 情報処理概論
新潟大学個性化科目	地域入門 地域研究 自由主題
留学生基本科目	日本語 日本事情
大学学習法	大学学習法
自然系共通専門基礎	数学・統計学 物理学 化学 生物学 地学
自然科学	理学 工学 農学
人文社会・教育科学	人文科学 教育人間科学 法学 経済学
医歯学	医学 歯学

4. 履修の心得

理学部では、多様化する学生に対応して教育と研究の充実を図っています。専門教育についての基本的考え方、視点として次の2点が挙げられます。

- ・学生の多様化に応えるための、4年一貫教育による体系的・段階的な学習。
- ・社会の要請に応える、幅広い学際的人材育成のための、各専門間の境界領域教育の充実。

理学部規程は、入学年度の規程が卒業するまで適用されますので、自分の適用規程を確認するときは入学年度の「履修の手引」を参照してください。

I 教養教育に関する授業科目

本学部の教育課程は、「教養教育に関する授業科目」及び「専門教育に関する授業科目」により編成されています。「教養教育に関する授業科目」はその内容等に応じ、英語、初修外国語、健康・スポーツ、情報リテラシー、新潟大学個性化科目、人文社会・教育科学、自然科学及び医歯学に区分されており、幅広い教養を身に付けるための授業科目です。

なお、他学部の科目及び理学部の所属学科以外の専門科目を修得した場合は、理学部では教養教育に関する科目とみなされます。

履修にあたっては、各学科のガイダンスに従ってください。

II 専門教育に関する授業科目

「専門教育に関する授業科目」には、大学学習法、自然系共通専門基礎、自然科学（理学）に区分された科目があります。それぞれの区分について、必修科目、選択必修科目及び選択科目があり、各学科が指定した単位を修得しなければなりません。

各学科の授業科目及び単位数は、理学部規程別表第2及び講義概要の各年度入学者向け開講科目表を参照してください。

○ 大学学習法

大学教育への導入科目です。

○ 自然系共通専門基礎

自然科学系学部の学生が専門を学ぶ上で基礎となる授業科目です。

○ 各学科共通科目（総合科目）

一定の個別の専門知識を学んだ学生に対して、科学の持つ多面的な側面から自分の専門を見直し、かつ、総合的判断力を身に付けるための科目です。学科の枠を超えて全学科の協力を得て設けられています。所属学科の科目に偏らず広く履修することが望まれます。

III 理学部規程別表第1（第4条関係）及び別表第2の履修方法

【教養教育に関する授業科目】 25単位を修得してください。

「英語」、「初修外国語」、「健康・スポーツ」、「情報リテラシー」、「新潟大学個性化科目」、「人文社会・教育科学」、「自然科学」及び「医歯学」区分の科目は、「新潟大学授業科目開設一覧」の科目の中から、別表第1の区分毎に規定の単位数を修得してください。

ただし、「自然科学」のうち、細区分「理学」に属する科目は、別表第2の3自然科学の各学科共通科目及び所属学科に記載の科目を除きます。

また、必修の体育実技は、「健康スポーツ科学実習Ⅰ」の履修を原則とします。

【専門教育に関する授業科目】 82単位を修得してください。

理学部規程別表第2から以下に留意して修得してください。

1. 大学学習法 2単位必修

所属学科が指定する科目を修得してください。

2. 自然系共通専門基礎

別表第1で所属学科が各細区分毎に規定する単位数を修得してください。

主聴講学部・学科が指定されている科目がありますので、履修に際しては注意してください。

3. 自然科学（理学）

別表第1で各学科が規定する科目・単位数を別表第2を参照の上、修得してください。

【自由選択科目】

17 単位を「教養教育に関する授業科目」又は「専門教育に関する授業科目」から修得してください。

○ 専門教育に関する授業科目の学科別留意事項

〔物理学科〕

自然系共通専門基礎科目

物理学基礎 A I 及び物理学基礎 A II が必修です。

なお、物理学基礎 B I, B II, C I, C II 及び物理学入門の単位を修得しても、卒業要件単位とはなりません。

〔化学科〕

自然系共通専門基礎科目

化学基礎 A 及び化学基礎 B が必修です。なお、化学基礎 C の単位を修得しても、卒業要件単位とはなりません。

〔地質科学科〕

自然系共通専門基礎科目

「数学・統計学」の選択必修科目は、数学基礎 A, 数学基礎 B 又は統計学基礎から 2 単位の修得が必要です。

コースへの所属

「地質学専修コース」と「地質エンジニアリングコース」があり、3 年次進級時にコース分けを行います。したがって、本学科の 3 年次以上の学生は、必ずどちらかのコースに所属することになります。それぞれのコースの内容、履修科目等については、別途配布する「地質科学科 教育プログラムの案内」で確認してください。

〔自然環境科学科〕

自然系共通専門基礎科目

細区分毎の必修科目は、数学基礎 A, 物理学基礎 D, 化学基礎 A, 化学基礎 B, 生物学基礎 A, 生物学基礎 B, 地学基礎 A の 7 科目 (14 単位) です。

また、「数学」の選択必修科目は、数学基礎 B または統計学基礎から 1 科目 (2 単位)、「物理学」の選択必修科目は、物理学基礎 A I または物理学基礎 B I から 1 科目 (2 単位)、「地学」の選択必修科目は、地学基礎 B または地学基礎 C から 1 科目 (2 単位) の修得が必要です。

【注意】

1. 「教職に関する科目」は卒業要件単位 (124 単位) とはなりません。ただし、数学科では「数学科教育法 I」, 「数学科教育法 II」, 「数学科教育法 III」, 「数学科教育法 IV」, 「情報科教育法 I」及び「情報科教育法 II」を、卒業要件単位 (専門教育に関する授業科目) に含めることができます。
2. 教育職員免許状取得のための実験科目の単位は、卒業要件単位に含みません。
3. 学芸員資格取得のための科目は、卒業要件単位に含みません。
4. 社会教育主事資格取得のための科目は、卒業要件単位に含みません。
5. 副専攻に係る Q コード科目及び国際センター開設科目は、卒業要件単位に含みません。
6. 経済学部夜間主コース学生向け科目は卒業要件単位に含みません。

IV アドバイザー制度

理学部では、アドバイザー制度を導入し、きめ細かい履修指導を行っています。授業の履修方法などで分からないことがあれば、各学科・学年ごとのアドバイザーの先生方に相談できます。

V 履修申請

原則として「学務情報システム」(Web ブラウザ) から行います。

ただし、集中講義等で「聴講票」により履修申請を行う科目がありますので、その都度通知します。

VI 履修確認

原則として「学務情報システム」(Web ブラウザ) から行います。学期ごとに履修科目確認期間があり

ます。後日思わぬ不利益を被ることのないように、必ず確認してください。
確認期間については、学務情報システム画面若しくは掲示板で確認してください。

Ⅶ 進級

各年次へ進級できる要件は、各学科で個別に定めています。

Ⅷ 試験時における注意事項

受験に当たっては、不正行為のないよう厳正な態度で臨んでください。

不正行為を行った学生に対しては、当該科目の受験を無効とするほか、当該年度の全科目の単位不認定、若しくは本学学則第 73 条による懲戒、又はそれらを併せた処置を行うことがあります。

Ⅸ 成績と GPA

履修登録した授業科目の成績は、その科目毎に下記の評価基準に基づいた点数で評価します。

また、併せて履修登録した全授業科目について、1 単位当たりの成績の平均値 (GPA) を算出します。

GPA は学期毎に算出し、入学後の全ての学期において履修登録した授業科目について、累積 GPA を算出します。

累積 GPA と全履修単位数は、学生の勉学に関する“質の高さ”と“意欲の旺盛さ”を端的に表していると見ることができます。

GPA は大学が責任をもって学生に教育を行い、社会に送り出すために、最低限の質の保証として導入されたもので、授業の履修については「厳格な成績評価及び修了認定」をするため、学生の皆さんには自己責任や自己管理についての注意が求められます。

【注意】

取消手続きを行わなかった授業科目、試験を受けなかった授業科目があると、累積 GPA が下がることとなります。

○成績評価基準

100～90 点(秀)	授業科目の目標を超えている。
89～80 点(優)	授業科目の目標に十分達している。
79～70 点(良)	授業科目の目標から考えると一定の水準に達している。
69～60 点(可)	授業科目の目標から考えると最低限を満たしている。
59 点以下 (不可)	授業科目の目標に達していない。

○GPA 計算

100 点満点で評価された各授業科目のグレード・ポイント (GP) は、次の計算式で算出されます。

$$GP = \frac{\text{評価} - 50}{10}$$

ただし、59 点以下の場合は 0 となります。

GPA は、次の計算式で算出されます。

$$GPA = \frac{\{\text{履修登録した各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

累積 GPA は、次の計算式で算出されます。

$$\text{累積 GPA} = \frac{\{\text{入学時以降に評価を得た各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{入学時以降に履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

<例> 85 点の場合、 $GP = (85 - 50) / 10 = 3.5$ となります。

X 再履修について

単位修得済みの科目について、同一科目を再度履修することができます。

ただし、卒業要件単位には 1 科目分の単位しか認められません。

※再履修できない科目 (実験・実習科目他) もありますので、履修申請の際には注意してください。

XI 席次

各学科における学年毎の席次は、取得単位数及び累積 GPA 等により総合的に決定するものとし、その基準は、学科毎に定めています。

XII 保護者への成績通知

本学部では、学生の学修成績を保護者に通知しています。

送付に際し、特殊事情や送付先の変更を希望する等の場合は、各学科学務委員に申し出てください。

XIII 身上異動

改氏名、保護者の変更、保護者の住所変更等の身上異動があった場合は、速やかに理学部長に届け出なければなりません。届出用紙は、理学部学務係にあります。

XIV 学生連絡先

緊急に連絡を要する場合、大学から連絡先（住所）へ電話等をする場合があります。

入学時に連絡先届を提出するとともに「学務情報システム」にも現住所及び電話番号を必ず登録してください。連絡先に変更があった場合は、理学部学務係に届け出るとともに登録内容の更新を行ってください。

※届出がない場合には、不利益を被ることがあります。

XV その他

1 転部・転科

転部・転科を希望する場合は、所属学科長及び所属学科学務委員に申し出てください。

各申請用紙は、理学部学務係にあります。

（理学部への転部及び転科志願書類の受付期間は12月1日から12月10日（平日のみ）です。）

2 休学・退学

保護者と相談の上、所属学科学務委員に申し出てください。

各申請用紙は、理学部学務係にあります。

3 長期欠席

病気等で欠席しなければならない期間が2週間を超える場合は、長期欠席届（病気の場合は医師の診断書を添付）を提出してください。届出用紙は、理学部学務係にあります。

4 海外旅行届

海外旅行を行う場合は、学務係に「海外旅行計画書」（理学部学務係にあります）を提出してください。

5 掲示板

学生への連絡事項は、すべて掲示により周知しますので、1日1回は学務係掲示板及び所属学科掲示板を見てください。

掲示を見なかったことによる不利益は自分で被らなければなりません。

また、学務情報システムの「連絡通知」も1日1回は確認し、携帯電話からメールシステムが利用できますので活用してください。

5. 教育職員免許状の取得について

理学部において取得することができる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりです。

区分	免許状の種類	免許教科
理学部	中学校教諭一種免許状	数学, 理科
	高等学校教諭一種免許状	数学, 情報 理科

※新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程に進学すると、専修免許状の取得が可能です。

教育職員免許状取得に必要な資格

免許状の種類	所用資格	基礎資格	大学において修得することを必要とする科目の最低修得単位数		
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	学士の学位を有すること	20	31*	8
高等学校教諭一種免許状			20	23*	16

※ 上記の表にかかわらず、本学のカリキュラム上、教員免許取得のためには24ページに示す「教職に関する科目」の単位の履修が必要ですので注意してください。
(中学校教諭免許状は32単位、高校教諭免許状は24単位が必要です。)

免許状取得には、「教科に関する科目」、「教職に関する科目」の他に「一般教育科目」(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)の単位の修得が必要です。

中学校教諭免許状取得には、更に「介護等の体験」が必要です。

一般教育科目 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

科目	単位数	開設授業科目	単位数		履修方法
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法A 日本国憲法B 日本国憲法C 日本国憲法D		2 2 2 2	※左記授業科目のうちから いずれか2単位修得のこと
体育	2	健康スポーツ科学実習 I ○ 健康スポーツ科学講義	1	2	
外国語コミュニケーション	2	アカデミック英語 (リーディング) アカデミック英語 (リスニング) アカデミック英語 (ライティング) 基礎英語 理工英語読解		1 1 1 1 1	※左記授業科目のうちから いずれか2単位修得のこと
情報機器の操作	2	情報処理概論A* 情報処理概論C* 情報機器操作入門 UNIX リテラシー演習		2 2 2 2	※左記授業科目のうちから いずれか2単位修得のこと

○印：免許状取得上の必修科目を示す。

*印：情報処理概論Aについては、A I またはA II のどちらかを履修してください。
情報処理概論Cについては、開設されない年度があります。

教科に関する科目、教科又は教職に関する科目（免許法施行規則に定める科目）

	中学校一種免許状		高等学校一種免許状	
	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目
数学	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計8単位以上	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計16単位以上
情報			情報社会及び情報倫理（実習を含む。） コンピュータ及び情報処理（実習を含む。） 情報システム（実習を含む。） 情報通信ネットワーク（実習を含む。） マルチメディア表現及び技術（実習を含む。） 情報と職業 ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計16単位以上
理科	物理学 物理学実験（コンピュータ活用を含む） 化学 化学実験（コンピュータ活用を含む） 生物学 生物学実験（コンピュータ活用を含む） 地学 地学実験（コンピュータ活用を含む） ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計8単位以上	物理学 化学 生物学 地学 ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 物理学実験（コンピュータ活用を含む） 化学実験（コンピュータ活用を含む） 生物学実験（コンピュータ活用を含む） 地学実験（コンピュータ活用を含む） ◎上記4実験科目のうちから1実験科目1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計16単位以上

教科に関する科目

数学科 (数学)

数学科 (情報)

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選
代数学		情報社会及び情報倫理 (実習を含む)	
線形代数 I	2	情報社会論	2
数理基礎演習 II	2		
代数入門	4	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む)	
代数系 I	2	プログラミング概論	2
代数系 II	2	プログラミング演習	2
		知能システム論	2
幾何学		計算機概論	2
線形代数 II	2	計算機概論実習	1
線形代数 III	4	情報統計学	2
幾何学 I	4	計算物理学 (物理学科)	2
幾何学 II	2	計算物理学演習 (物理学科)	2
トポロジー	2		
		情報システム (実習を含む)	
解析学		計算システム	2
微分積分学 I	2	計算システム実習	1
微分積分学 II	2	情報計画システム I	2
微分積分学 III	4	情報計画システム II	2
集合と位相入門	2	数理基礎演習 I	2
位相空間論	2		
複素解析学 I	2	情報通信ネットワーク (実習を含む)	
複素解析学 II	2	情報基礎数学 I	2
関数解析学	2	グラフとネットワーク理論	2
		ネットワーク実習	1
確率論, 統計学		マネジメント表現及び技術 (実習を含む)	
実解析学	4	情報基礎数学 II	2
確率論	2	デジタル表現論	2
統計学基礎	2	デジタル表現実習	1
コンピュータ		情報と職業	
微分方程式論	2	情報産業論	2
数値解析	2	情報管理学	2

物理学科 (理科)

化学科 (理科)

生物学科 (理科)

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選
物理学		物理学		物理学	
物理学基礎 A I	2	物理学入門	2	物理学入門	2
物理学基礎 A II	2	物理学基礎 A I	2	物理学基礎 A I	2
物理学基礎 D	2	物理学基礎 A II	2	物理学基礎 A II	2
基礎ベクトル解析	2	物理学基礎 B I	2	物理学基礎 B I	2
解析力学	2	物理学基礎 B II	2	物理学基礎 B II	2
電磁気学 a	2	物理学基礎 D	2	物理学基礎 D	2
電磁気学 b	2				
熱力学	2	物理学実験 (コンピュータ活用含む)		物理学実験 (コンピュータ活用含む)	
物理数学 I	2	○ 物理化学実験	2	○ 物理学実験	1
物理数学 II	2				
物理数学 III	2	化学		化学	
物理数学演習 I	2	化学基礎 A	2	化学基礎 A	2
量子力学 I	2	化学基礎 B	2	化学基礎 B	2
量子力学 II	2	化学基礎 C	2	化学基礎 C	2
量子力学 III	2	分析化学 I	2	基礎生物化学	2
統計力学 I	2	分析化学 II	2	生命科学のための基礎化学	2
統計力学 II	2	無機化学 I	2	生物化学 I	2
統計力学 III	2	無機化学 II	2		
物理学演習	2	錯体化学	2	化学実験 (コンピュータ活用含む)	
物理数学演習 II	2	無機化学 III	2	○ 生物化学実習	2
電磁気学演習	2	放射化学	2		
振動・波動	2	有機化学 I	2	生物学	
電気力学	2	有機化学 II	2	生物学基礎 A	2
流体物理学	2	有機化学 III	2	生物学基礎 B	2
エレクトロニクス	2	構造有機化学	2	分子生物学	2
計測学	2	反応有機化学	2	生物化学 II	2
現代物理学	2	化学熱力学	2	細胞生物学 I	2
特殊相対論	2	化学統計学 I	2	細胞生物学 II	2
一般相対論	2	量子化学 I	2	生体情報学	2
原子核物理学 I	2	量子化学 II	2	動物生理学 I	2
原子核物理学 II	2	化学反応論	2	動物生理学 II	2
物性物理学 I	2	化学統計学 II	2	動物生理学 III	2
物性物理学 II	2	生体分子化学 III	2	遺伝学	2
物理学基礎ゼミ	2	有機機器分析	2	系統動物学	2
素粒子物理学 I	2	基礎機器分析	2	発生生物学 I	2
素粒子物理学 II	2			発生生物学 II	2
宇宙物理学	2	化学実験 (コンピュータ活用含む)		植物生理学 I	2
量子力学序論	2	化学実験 I	2	植物生理学 II	2
基礎物理学演習 I	2	化学実験 II	2	植物生理学 III	2
基礎物理学演習 II	2	無機化学実験	2	基礎細胞生物学	2
量子力学演習 I	2	有機化学実験	2	基礎細胞遺伝学	2
統計力学演習 I	2			生物学基礎演習	2
量子力学演習 II	2	生物学			
統計力学演習 II	2	生物学基礎 A	2	生物学実験 (コンピュータ活用含む)	
		生物学基礎 B	2	分子生物学実習	2
物理学実験 (コンピュータ活用含む)		生体分子化学 I	2	動物生理学実習	2
物理学実験 a	4	生体分子化学 II	2	植物分子生理学実習	2
物理学実験 b	4			動物形態発生学実習	2
		生物学実験 (コンピュータ活用含む)		植物形態発生学実習	2
化学		○ 生化学実験	2	基礎生物科学実習 I	2
化学基礎 A	2			基礎生物科学実習 II	2
化学基礎 B	2	地学		臨海実習 I	2
化学基礎 C	2	地学基礎 A	2		
		地学基礎 B	2	地学	
化学実験 (コンピュータ活用含む)		地学基礎 C	2	地学基礎 A	2
○ 化学実験	1			地学基礎 B	2
		地学実験 (コンピュータ活用含む)		地学基礎 C	2
生物学		○ 分析化学実験	2		
生物学基礎 A	2			地学実験 (コンピュータ活用含む)	
生物学基礎 B	2			○ 地学実験	1
生物学実験 (コンピュータ活用含む)					
○ 生物学実習	1				
地学					
地学基礎 A	2				
地学基礎 B	2				
地学基礎 C	2				
地学実験 (コンピュータ活用含む)					
○ 地学実験	1				

○ : 中学校免許必修

○ : 中学校免許必修

○ : 中学校免許必修

地質科学科（理科）

自然環境科学科（理科）

理科教員免状取得用実験科目

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選
物理学		物理学	
物理学入門	2	物理学入門	2
物理学基礎A I	2	物理学基礎A I	2
物理学基礎A II	2	物理学基礎A II	2
物理学基礎B I	2	物理学基礎B I	2
物理学基礎B II	2	物理学基礎B II	2
物理学基礎D	2	物理学基礎D	2
物理学実験（コンピュータ活用含む）		高層大気科学	2
鈦物結晶学実験	1	基礎量子力学	2
地質構造解析法	1	地球流体力学	2
化学		物質科学B	2
化学基礎A	2	基礎数理解習Ⅰ	2
化学基礎B	2	基礎数理解習Ⅱ	2
化学基礎C	2	物理学実験（コンピュータ活用含む）	
化学実験（コンピュータ活用含む）		基礎物理学実験	2
地球化学分析法	1	自然環境科学実験C	4
水質化学分析法	1	化学	
生物学		化学基礎A	2
生物学基礎A	2	化学基礎B	2
生物学基礎B	2	化学基礎C	2
古生物学A	2	環境分析化学	2
古生物学B	2	地球環境化学	2
生物学実験（コンピュータ活用含む）		物質反応化学	2
海洋生物学実験	1	エネルギー物質科学	2
古無脊椎動物学実験	1	物質科学A	2
古生物学実験	1	物質科学C	2
地学		化学実験（コンピュータ活用含む）	
地学基礎A	2	基礎化学実験	2
地学基礎B	2	生物学	
地学基礎C	2	生物学基礎A	2
地質調査法基礎Ⅰ	1	生物学基礎B	2
地質調査法基礎Ⅱ	1	生態学	2
地質調査法Ⅰ	2	環境生物学演習	2
地質調査法Ⅱ	2	保全生物学	2
地質調査法実習Ⅰ	1	多様性生物学A	2
地質調査法実習Ⅱ	1	多様性生物学B	2
地層学A	2	多様性生物学C	2
地層学B	2	進化生物学	2
地史学A	2	機能形態学A	2
地史学B	2	機能形態学B	2
テクトニクス	2	適応生物学	2
構造地質学	2	生物学実験（コンピュータ活用含む）	
岩石学A	2	基礎生物学実験	2
岩石学B	2	自然環境科学実験B	4
鈦物学A	2	環境生物学野外実習A	1
鈦物学B	2	環境生物学野外実習B	1
環境地質学A	2	環境生物学野外実習C	1
環境地質学B	2	地学	
資源・環境地質学	2	地学基礎A	2
第四紀環境学	2	地学基礎B	2
東アジアの地質形成史	2	地学基礎C	2
海洋地質学	2	地形学	2
固体地球化学	2	地圏環境変動論	2
地学実験（コンピュータ活用含む）		気候システム論	2
岩石学実験Ⅰ	1	地形情報科学	2
岩石学実験Ⅱ	1	環境気象学	2
野外実習基礎	1	地学実験（コンピュータ活用含む）	
野外実習Ⅰ	1	基礎地学実験	2
野外実習Ⅱ	2	自然環境科学実験A	4
野外実習Ⅲ	4	環境地質学野外実習	1
環境地質学実習	1		

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	備考
物理学実験（コンピュータ活用含む）	
物理学実験	生物学科向け
化学実験（コンピュータ活用含む）	
化学実験	物理学科向け
生物学実験（コンピュータ活用含む）	
生物学実習	物理学科向け
地学実験（コンピュータ活用含む）	
地学実験	物理学科向け 生物学科向け

【注意事項】

1. 免許取得用実験科目の単位を修得しても、卒業要件単位にはなりません。
2. 上記実験科目は、理学部開設科目（Sコード）から選択してください。Gコードで開設されている実験科目は、教員免許取得用ではありません。
3. 上記実験科目は、隔年開講になりますので、講義概要を参照してください。

教職に関する科目

	授業科目名	単位数		学年指定			
		中一	高一				
教育の意義等に関する科目	教職入門	2	2	1年			
教育の基礎理論に関する科目	教育学概論	2	2	2～4年			
	教育心理学	2	2	1年			
	教育の制度と経営	2	2	2～4年			
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程総論	2	2	2～4年			
	教科教育法	8	4	掲示にて通知			
	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="padding: 2px;">数学科教育法 I～IV</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">情報科教育法 I～II</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">理科教育法 (中等) I～IV</td> </tr> </table>				数学科教育法 I～IV	情報科教育法 I～II	理科教育法 (中等) I～IV
	数学科教育法 I～IV						
情報科教育法 I～II							
理科教育法 (中等) I～IV							
道徳指導法	2		2～4年				
教育方法・技術B	1	1	2年				
生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目	生徒指導・教育相談・進路指導 I	2	2	2・3年			
	生徒指導・教育相談・進路指導 II	2	2	2・3年			
教育実習	中等教育実習	5	3	4年			
教職実践演習	教職実践演習 (中等)	2	2	4年			
計		32	24				

教育実習

	中学校一種	高等学校一種	備考
単位数	5単位	3単位	
事前・事後指導	事前指導 事後指導		4月～5月予定 11月予定
実習期間	4週間 中学校実習 高等学校実習	2週間 高等学校実習	出身学校等
受講資格	4年次学生		
受講要件	3年次までに、以下の科目の単位を取得済みであること。 教職入門 教育心理学 教科教育法 生徒指導・教育相談・進路指導 I 生徒指導・教育相談・進路指導 II		
受講手続	3年次に、学生本人が実習校（出身学校等）へ依頼する		

◎実習教科と免許教科は同じことが原則となります。

◎教科教育法については、3年次までに1科目で単位を修得していれば、教育実習を受講できます。
なお、「理科教育法IV」は中学校免許取得希望者対象の講義です。高等学校免許（理科）のみ取得しようとする場合は、「理科教育法 I, II, III」から2科目を選択して4単位としてください。

3年次4月にガイダンスを行いますので、教育職員免許状取得希望者は、必ず出席してください。

○介護等の体験

実施方法や体験施設等についてのガイダンスを2年次の秋（11月頃）に行います。

また、事前指導を3年次の春（4月頃）に行いますので、中学校教諭免許状取得希望者は必ず出席してください。

※ 教育職員免許状に関するガイダンス日程や、免許状取得について変更が生じた場合は、掲示にて通知します。

6. 学芸員の資格取得について

1 学芸員の職務

学芸員とは、博物館法に基づく博物館の専門職員であって、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究、その他これに関連する事業について専門的事項をつかさどる者をいいます。

2 学芸員の資格

学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得した者は、学芸員となる資格があります。

3 博物館に関する科目及び単位数

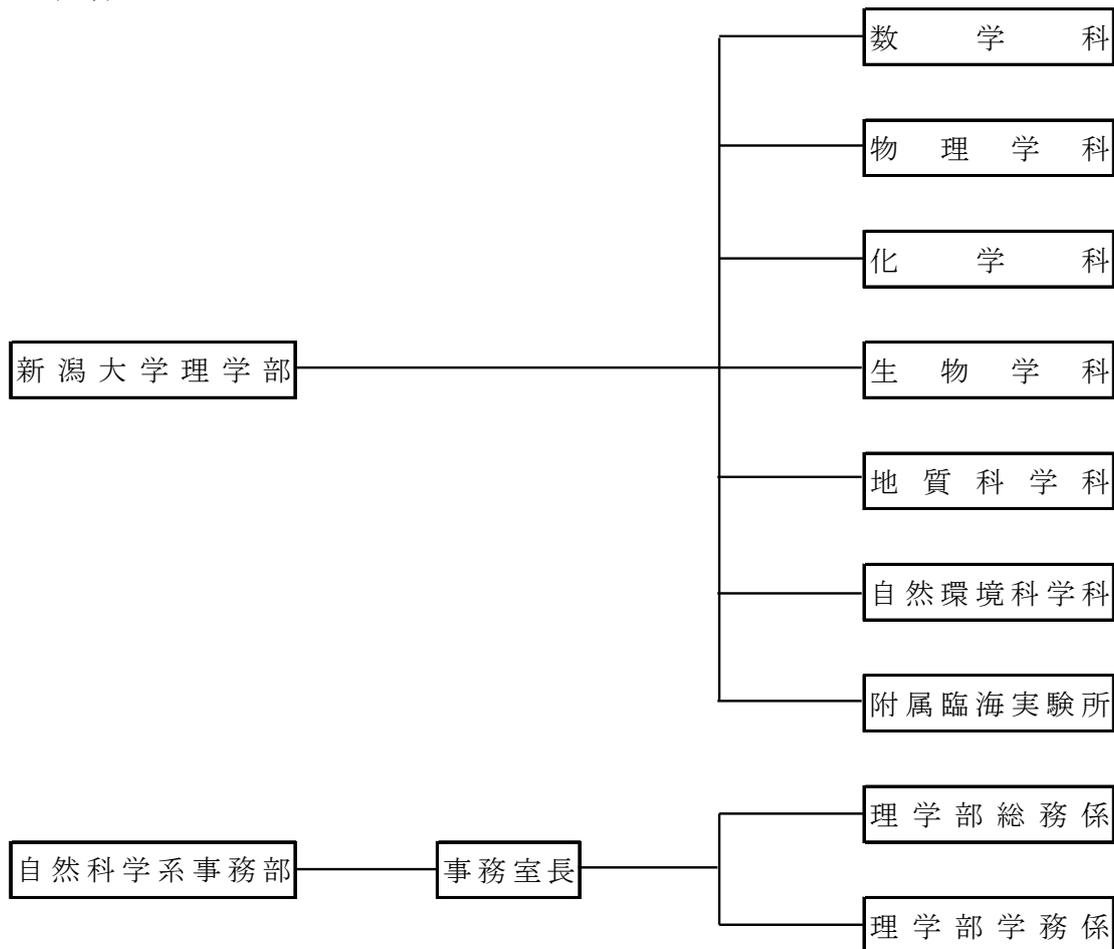
文部科学省令で定める大学において修得すべき博物館に関する科目の単位と、本学で開講される科目との関係は、次のとおりです。

文部科学省令の科目・単位数		左記に対応する 授業科目・単位数		履修 単位数	標準 履修 年次	備考 (開設 学部)
科目名	単位数	授業科目名	単位数			
生涯学習概論	2	生涯学習概論Ⅰ	2	2	2年	教育学部
		生涯学習概論Ⅱ	2			教育学部
		生涯学習概論Ⅲ	2			教育学部
博物館概論	2	博物館概論	2	2	2年	人文学部
博物館経営論	2	博物館経営論	2	2	3年	人文学部
博物館資料論	2	博物館資料論	2	2	3年	人文学部
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	2	3年	人文学部
博物館展示論	2	博物館展示論	2	2	3年	人文学部
博物館教育論	2	博物館教育論	2	2	2年	人文学部
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	2	2年	人文学部
博物館実習	3	博物館実習	3	3	4年	人文学部
合計	19	合計		19		

【備考】

- ①上記必修科目のほかに、人文学部で開設されている次の授業科目を修得することが望ましい。
ミュージアム論，考古学概説A・B，民俗学概説A・B，古文書学概説A・B，美術史概説A・B
- ②上記必修科目（博物館実習を除く8科目）は、博物館実習を4年次に履修することから、必ず3年次までに修得のこと。
- ③博物館実習についてのガイダンスを、3年次の10月頃及び12月上旬頃に行います（掲示にて通知）。学芸員資格取得希望者は必ず出席してください。

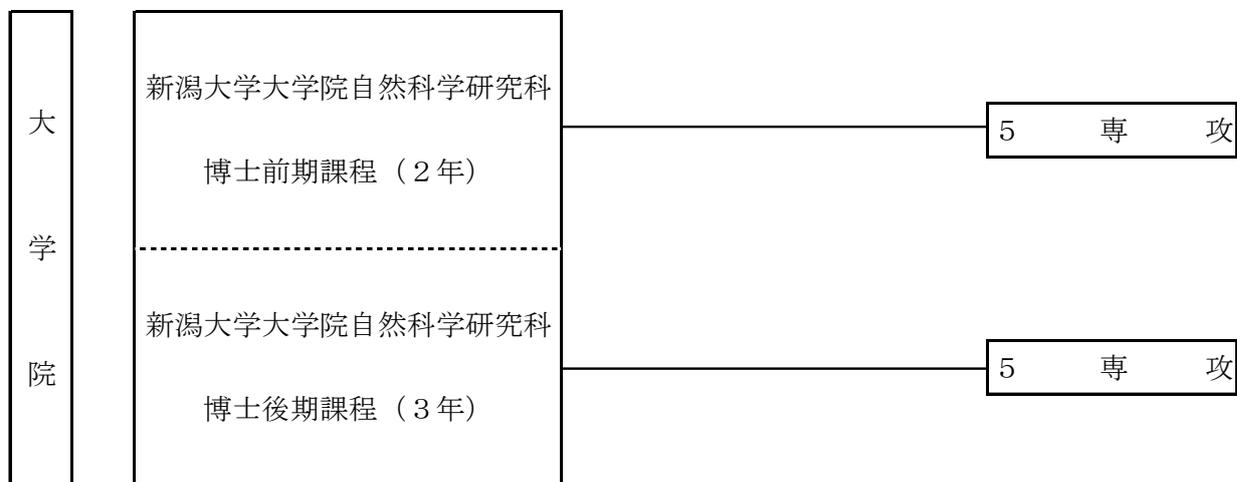
7. 理学部の組織



8. 大学院の組織

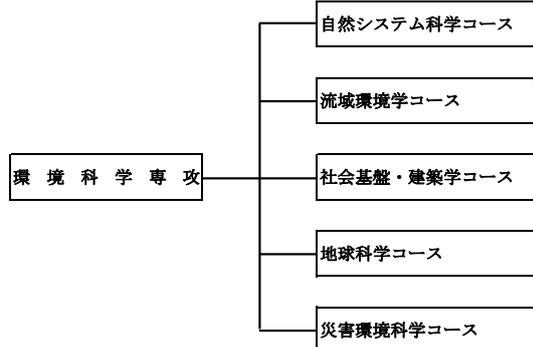
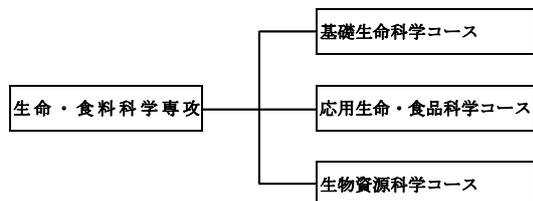
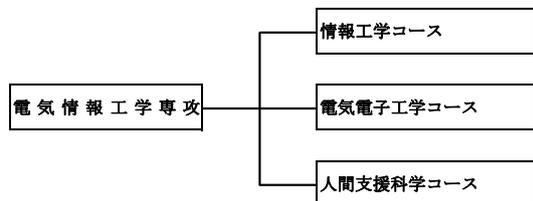
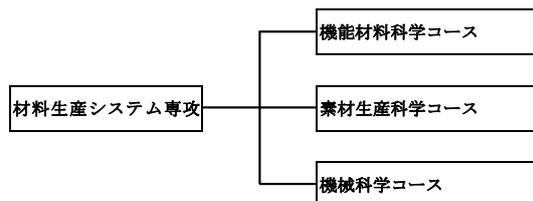
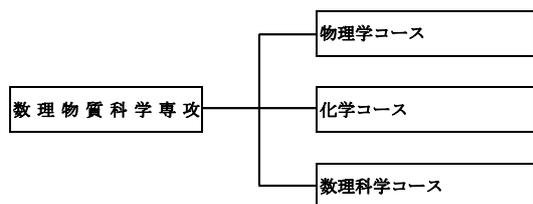
新潟大学では、平成7年度から従来の自然科学研究科博士後期課程の下に、大学院理学研究科、工学研究科及び農学研究科を統合して「自然科学研究科博士前期課程」を設置しました。

この改組により、新しい枠組みで教育研究分野を体系化し、自然科学系学問分野の総合化・学際化に応じられるよう各専攻に横断性を持たせると同時に、博士前期課程と博士後期課程における教育研究のより一層の連続性・継続性が図れるようになりました。

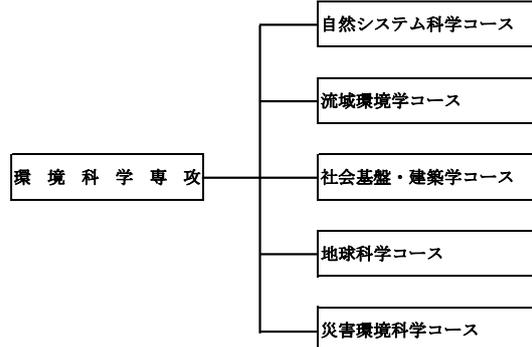
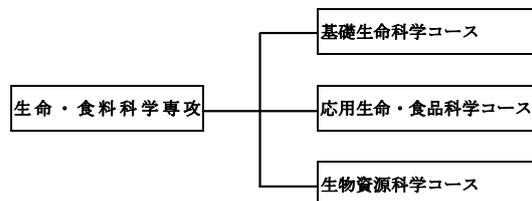
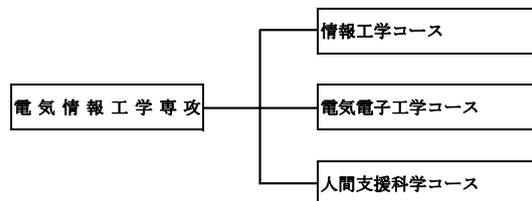
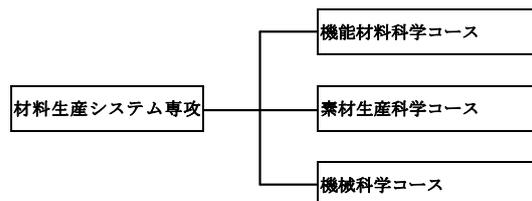
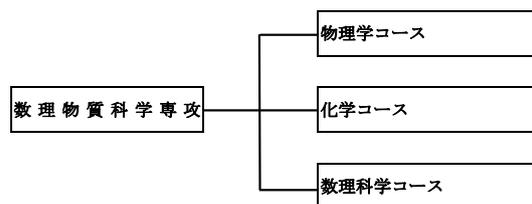


9. 自然科学研究科の構成

(1) 博士前期課程



(2) 博士後期課程



10. 教授会

新潟大学の全体組織については「学生便覧」等に示してありますが、その構成の一つとして本学部には「教授会」が置かれ、学部の管理、運営に関する事項等を審議し、方針を決定する機関となっています。

特に、学生諸君に直接関わりの深い問題については、次の委員会が扱います。

1 学務委員会

- 事項 ① カリキュラム，時間割，試験の実施
② 教育実習・教員職員免許の関係
③ 学生の身分異動の関係
④ 特別講義
⑤ 奨学生の推薦
⑥ 課外活動及び福利厚生
⑦ 自治会・学生相談
⑧ その他学務関係全般

2 就職・進路指導委員会

事項 就職及び進学等の進路指導に関する事項

3 判定委員会

事項 学生の入学及び卒業に関する事項

11. 事務

本学部の事務を処理するために自然科学研究科学務係と理学部学務係があります。

特に、学生生活を送る上で日常的に関わりの深い理学部学務係は、学務委員会等と密接な連携のもとに諸般の事務処理にあたっています。

理学部学務係の事務分掌

- (1) 教育課程の編成及び授業の実施に関すること。
- (2) 学生の募集及び入学試験に関すること。
- (3) 入学・卒業，その他学生の学籍に関すること。
- (4) 学生の修学等を支援するために必要な助言・指導，その他の援助に関すること。
- (5) 学位に関すること。
- (6) 学籍その他の記録に関すること。
- (7) 外国人留学生に関すること。
- (8) 教育実習及び教員職員免許に関すること。
- (9) 課外活動及び福利厚生に関すること。
- (10) 就職及び卒業後の進路に関すること。
- (11) 諸証明に関すること。
- (12) 所掌事務の調査及び統計に関すること。
- (13) その他学務関係事務に関すること。

学業及び学生生活を送る上で様々な問題が生じた時は、遠慮なく各学科の委員や担当係に積極的に相談されるよう希望します。

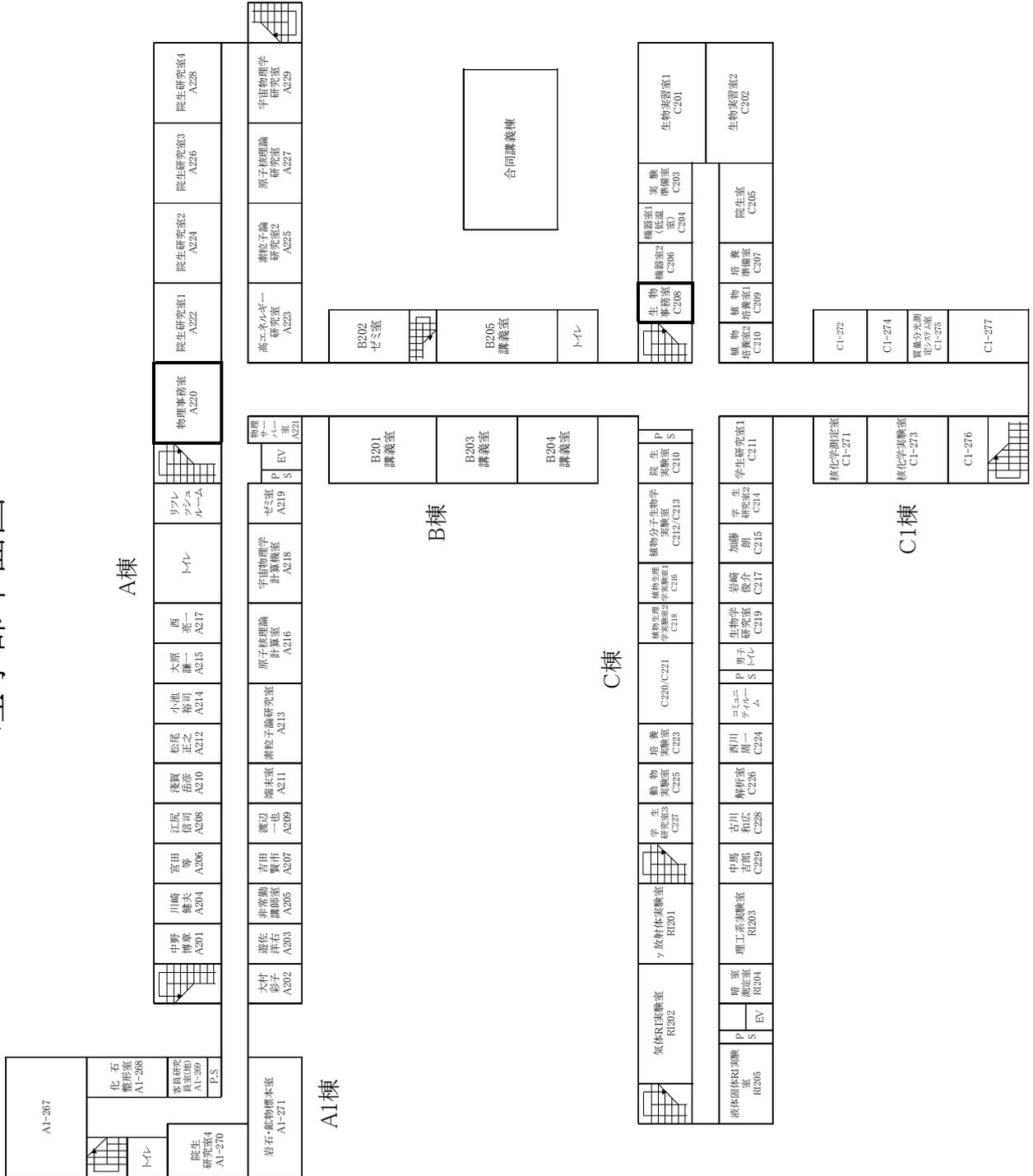
12. 理学部教職員一覧

H26.4.1現在

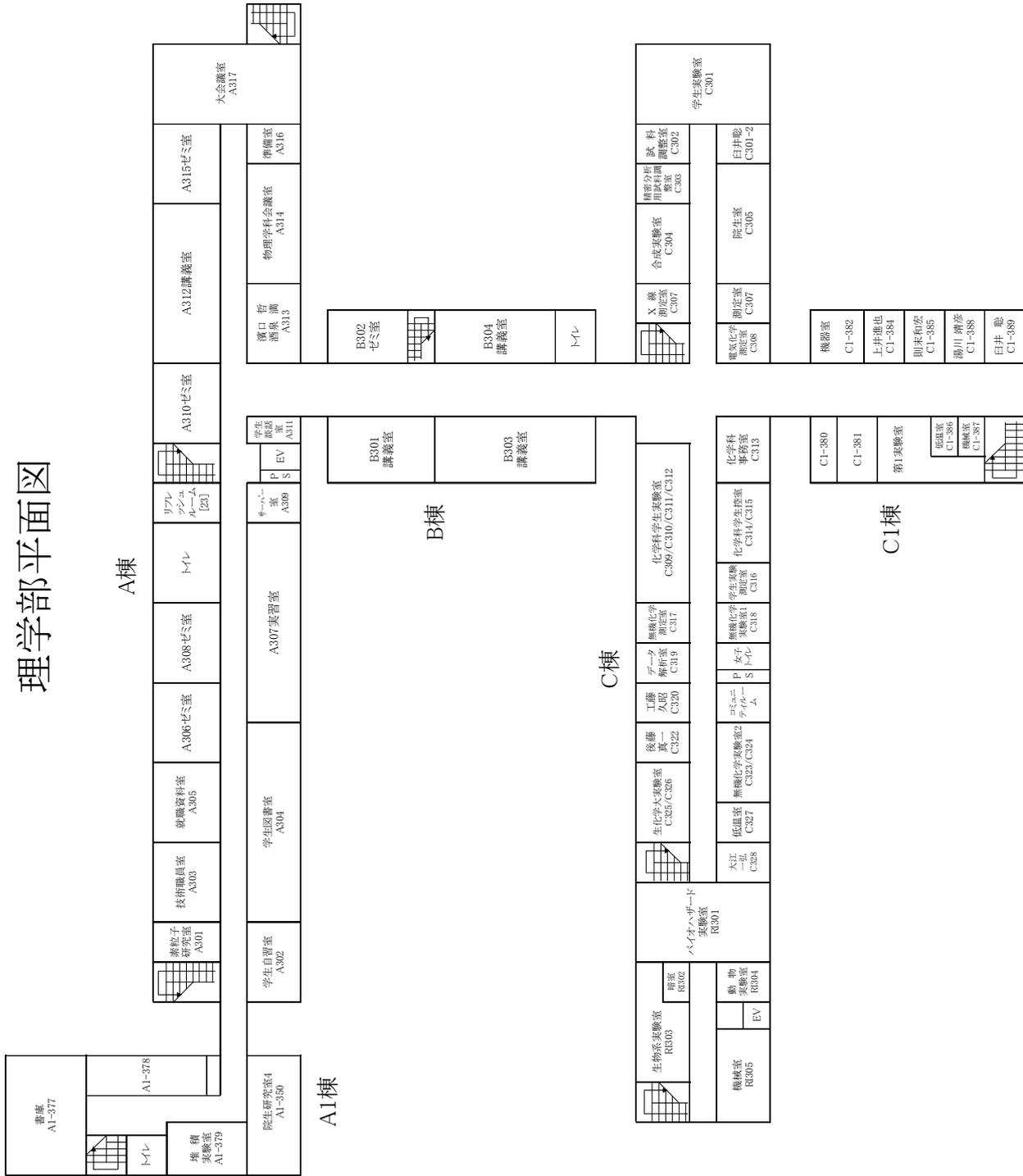
分野等	氏名	カナ	職名	研究室	分野等	氏名	カナ	職名	研究室			
数学科	数理解析学分野	齋藤 吉助	サイノウキチスケ	教授	理学部A棟	512	分子細胞科学分野	内海 利男	ウチウミトシオ	教授	生命環境棟	703-4
		羽鳥 理	ハトリオサム	教授	情報理工棟	505		長束 俊治	ナツカ シュンジ	教授	生命環境棟	305-1
		三浦 毅	ミウラ タケシ	教授	理学部A棟	503		加藤 朗	カウ アキラ	准教授	理学部C棟	215
		渡邊 恵一	ワタナベ ケイイチ	准教授	理学部A棟	501		伊東 孝祐	イトウ コウスケ	助教	生命環境棟	705
	構造数理科学分野	印南 信宏	インナミ ノブヒロ	教授	理学部A棟	508	生体制御学分野	西川 周一	ニシカワ シュウイチ	教授	理学部C棟	224
		小島 秀雄	コジマ ヒデオ	教授	情報理工棟	404		酒井 達也	サカイ タツヤ	教授	生命環境棟	703-1
		鈴木 有祐	スズキ ユウスケ	准教授	理学部A棟	505		岩崎 俊介	イワサキ トシスケ	准教授	理学部C棟	217
		星 明考	ホシ アキナリ	准教授	理学部A棟	509		井筒 ゆみ	イツツ ユミ	准教授	生命環境棟	303-1
	情報数理科学分野	家富 洋	イェトミ ヒロシ	教授	情報理工棟	510	自然科学研究科 生命・食料科学専攻	藤間 真紀	トウマ マキ	助教	生命環境棟	306-4
		山田 修司	ヤマダ シュウジ	教授	情報理工棟	405		前野 貢	マエノ ミツグ	教授	生命環境棟	303-1
		蛭川 潤一	ヒルカワ ジュンイチ	准教授	情報理工棟	506		杉本 健吉	スギモト ケンキチ	准教授	生命環境棟	306-1
		田中 環	タナカ タマキ	教授	情報理工棟	509						
自然科学研究科 数理物質科学専攻	應和 宏樹	オウノ ヒロキ	助教	理学部A棟	511							
	学教科事務室			理学部A棟	516							
物理学科	粒子・宇宙物理学分野	宮田 等	ミヤタ ヒトシ	教授	理学部A棟	206	岩石・鉱物学分野	サティッシュクマール	マド・スー・タン	教授	理学部A棟	412
		松尾 正之	マツオ マサユキ	教授	理学部A棟	212		高澤 栄一	タカサワ エイチ	准教授	理学部A棟	415
		小池 裕司	コイケ ユウジ	教授	理学部A棟	214		高橋 俊郎	タカハシ トシロウ	准教授	生命環境棟	105-2
		中野 博章	ナカノ ヒロアキ	准教授	理学部A棟	201	構造地質学分野	豊島 剛志	トヨシマ ツヨシ	教授	生命環境棟	106-2
		川崎 健夫	カワサキ タクオ	准教授	理学部A棟	204		小林 健太	コバヤシ ケンタ	講師	生命環境棟	106-1
		浅賀 岳彦	アサカ タケヒコ	准教授	理学部A棟	210		松岡 篤	マツオカ アツシ	教授	生命環境棟	406-2
		大坪 隆	オオツボ タカシ	准教授	物質生産棟	259		新川 公	ニシカワ イサオ	准教授	理学部A棟	414
		江尻 信司	エシリ シンジ	准教授	理学部A棟	208	堆積・古生物学分野	栗田 裕司	クリタ ヒロシ	准教授	生命環境棟	406-1
		渡辺 一也	ワタナベ カズヤ	助教	理学部A棟	209		植田 勇人	ウエダ ユウジン	准教授	理学部A棟	408
		物性科学分野	山田 裕	ヤマダ ユウ	教授	物質生産棟	701	自然科学研究科 環境科学専攻	小西 博巳	コニシ ヒロミ	教授	理学部A棟
	大野 義章		オノノ ヨシアキ	教授	物質生産棟	702	栗原 敏之		クリハラ トシユキ	准教授	理学部A棟	410
	摂待 力生		セツタイ リキオ	教授	物質生産棟	703	椎野 勇太		シノ ユウタ	助教	理学部A棟	401
柳瀬 陽一	ヤナセ ヨウイチ		准教授	物質生産棟	704-2	地質科学科事務室				理学部A棟	406	
奥西 巧一	オクニシ コウイチ		准教授	物質生産棟	704-1	地球環境科学分野	浮田 甚郎	ウキタ シンロウ	教授	環境エネルギー棟	411	
石川 文洋	イシカワ フミヒロ		准教授	物質生産棟	705		久保田 喜裕	クボタ ヨシヒロ	准教授	理学部A棟	427	
廣瀬 雄介	ヒロセ ユウスケ		助教	物質生産棟	712		副島 浩一	ソエジマ コウイチ	准教授	環境エネルギー棟	314	
赤津 光洋	アカツ ミツヒロ		助教	物質生産棟	710		彦坂 泰正	ヒコサカ ヤスマサ	准教授	環境エネルギー棟	407	
自然科学研究科 数理物質科学専攻	大原 謙一	オハラ ケンイチ	教授	理学部A棟	215		本田 明治	ホンダ アキハル	准教授	環境エネルギー棟	409	
	西 亮一	ニシ リョウイチ	准教授	理学部A棟	217		奈良間 千之	ナラマ チユキ	准教授	環境エネルギー棟	408	
	根本 祐一	ネモト ユウイチ	准教授	物質生産棟	710		濱口 哲	ハマグチ サトシ	教授	理学部A棟	313	
	金 鋼	キン コウ	准教授	物質生産棟	752-1		高橋 正道	タカハシ マサミチ	教授	理学部C棟	108	
	佐佐 洋右	ササ ヨウスケ	助教	理学部A棟	203	酒泉 満	サカイミツル	教授	理学部A棟	313		
	吉田 賢市	ヨシダ ケンイチ	助教	理学部A棟	207	林 八寿子	ハヤシ ヤスコ	准教授	理学部C棟	110		
武智 麻耶	タケチ マヤ	助教	物質生産棟	563	上井 進也	ウワイ シンヤ	准教授	理学部C1棟	384			
学教科事務室			理学部A棟	220	藤村 衡至	フジムラ コウジ	助教	理学部C棟	103			
化学科	物理・量子化学分野	大鳥 範和	オトリ ノリカズ	教授	情報理工棟	306	物質循環科学分野	松岡 史郎	マツオカ シロウ	教授	物質生産棟	652
		生駒 忠昭	イコマ タクアキ	教授	物質生産棟	602		湯川 靖彦	ユカワ ヤスヒロ	教授	理学部C1棟	388
		三浦 智明	ミウラ トモアキ	助教	物質生産棟	609		臼井 聡	ウスイ サトシ	准教授	理学部C1棟	389
		丸山 健二	マルヤマ ケンジ	准教授	情報理工棟	309		則末 和宏	ノリスエ カズヒロ	准教授	理学部C1棟	385
	無機・分析化学分野	工藤 久昭	クドウ ヒサアキ	教授	理学部C棟	320	自然科学研究科 環境科学専攻	石崎 智美	イシザキ サトミ	助教	理学部C棟	105
		佐藤 敬一	サトウ ケイイチ	准教授	物質生産棟	604						
		長谷川 英悦	ハセガワ エイエツ	教授	物質生産棟	555						
		俣野 善博	マノ ヨシヒロ	教授	物質生産棟	603		自然環境科学科事務室			理学部C棟	111
	有機・生化学分野	古川 和広	フルカワ カズヒロ	教授	理学部C棟	228	附属臨海実験所	安東 宏徳	アノウ ヒロリ	教授		
		田山 英治	タヤマ エンジ	准教授	物質生産棟	616		安房田 智司	アワタ サトシ	助教		
		中馬 吉郎	チュウマ ヨシロウ	准教授	理学部C棟	229	自然科学研究科附属 教育研究高度化センター	宮下 孝洋	ミヤシタ タカヒロ	教授	自然科学研究科 管理・共通棟	
		梅林 泰宏	ウメバヤシ ヤスヒロ	教授	物質生産棟	605	研究推進機構 超域学術院	中山 敦子	ナカヤマ アツコ	准教授	物質生産棟	707
岩本 啓	イワモト ヒジメ	准教授	物質生産棟	601	大村 彩子	オオムラ アヤコ		助教	理学部A棟	202		
後藤 真一	ゴトウ シンイチ	准教授	理学部C棟	322	三好 智博	ミヨシ トモヒロ		助教	生命環境棟	703-4		
大江 一弘	オオエ カズヒロ	助教	理学部C棟	328	足立 佳子	アダチ ヨシコ		助教	自然研管理棟	A410		
学教科事務室			理学部C棟	313	機器分析センター	古川 貢	フルカワ コウ	准教授	物質生産棟	204		

理学部平面図

2階

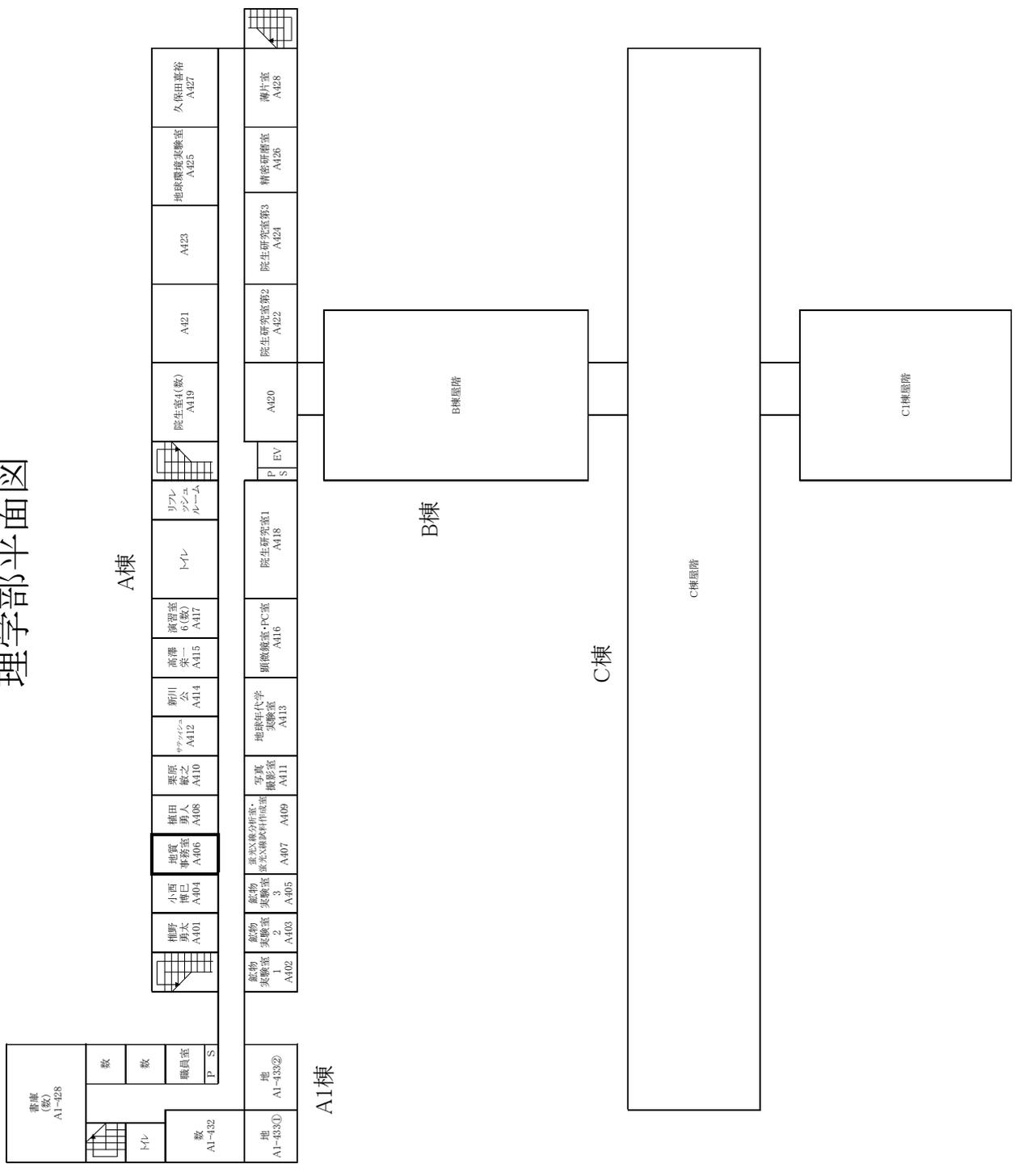


理学部平面図



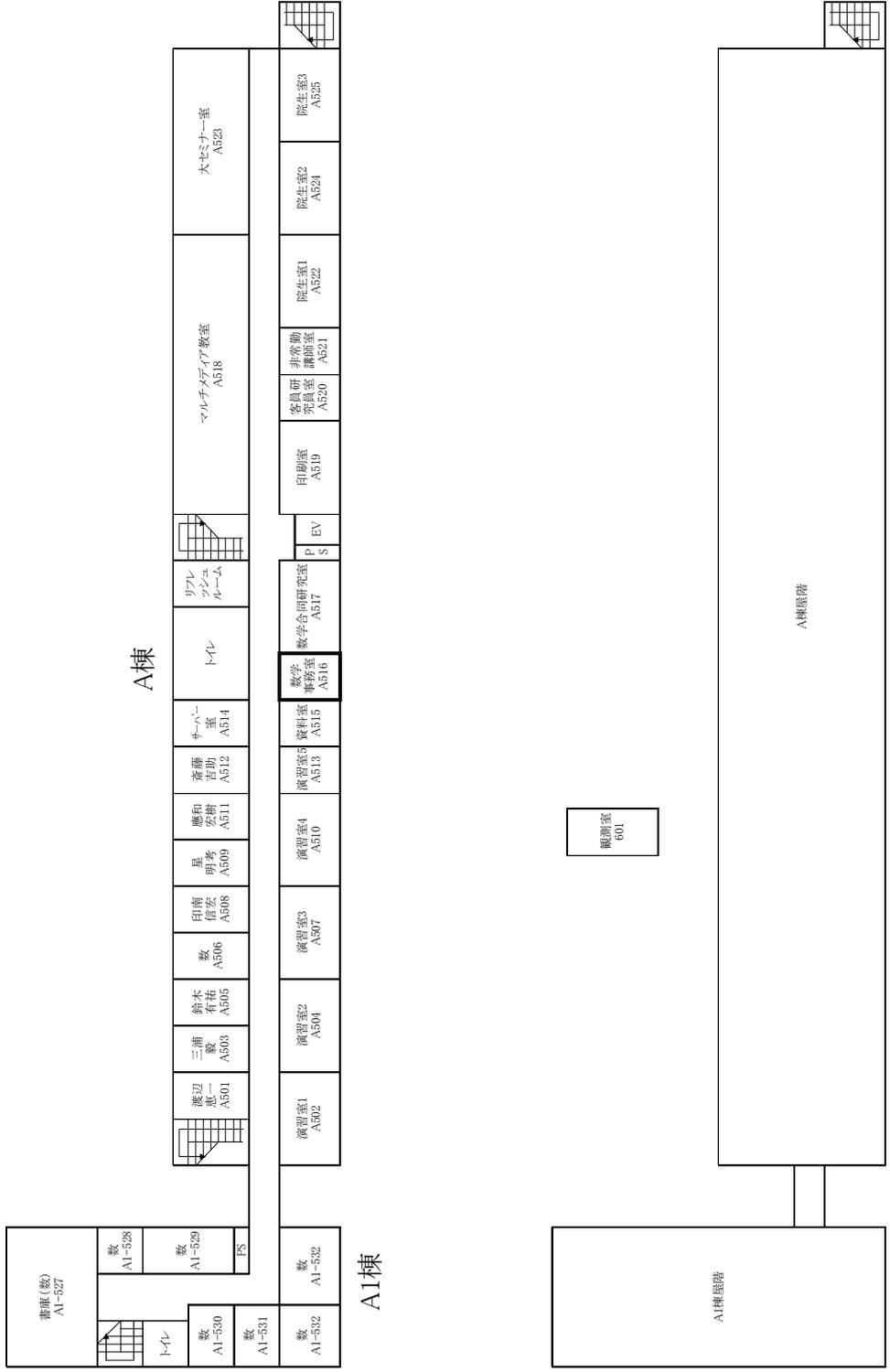
理学部平面図

4階



理学部平面図

5階, 屋階



リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。